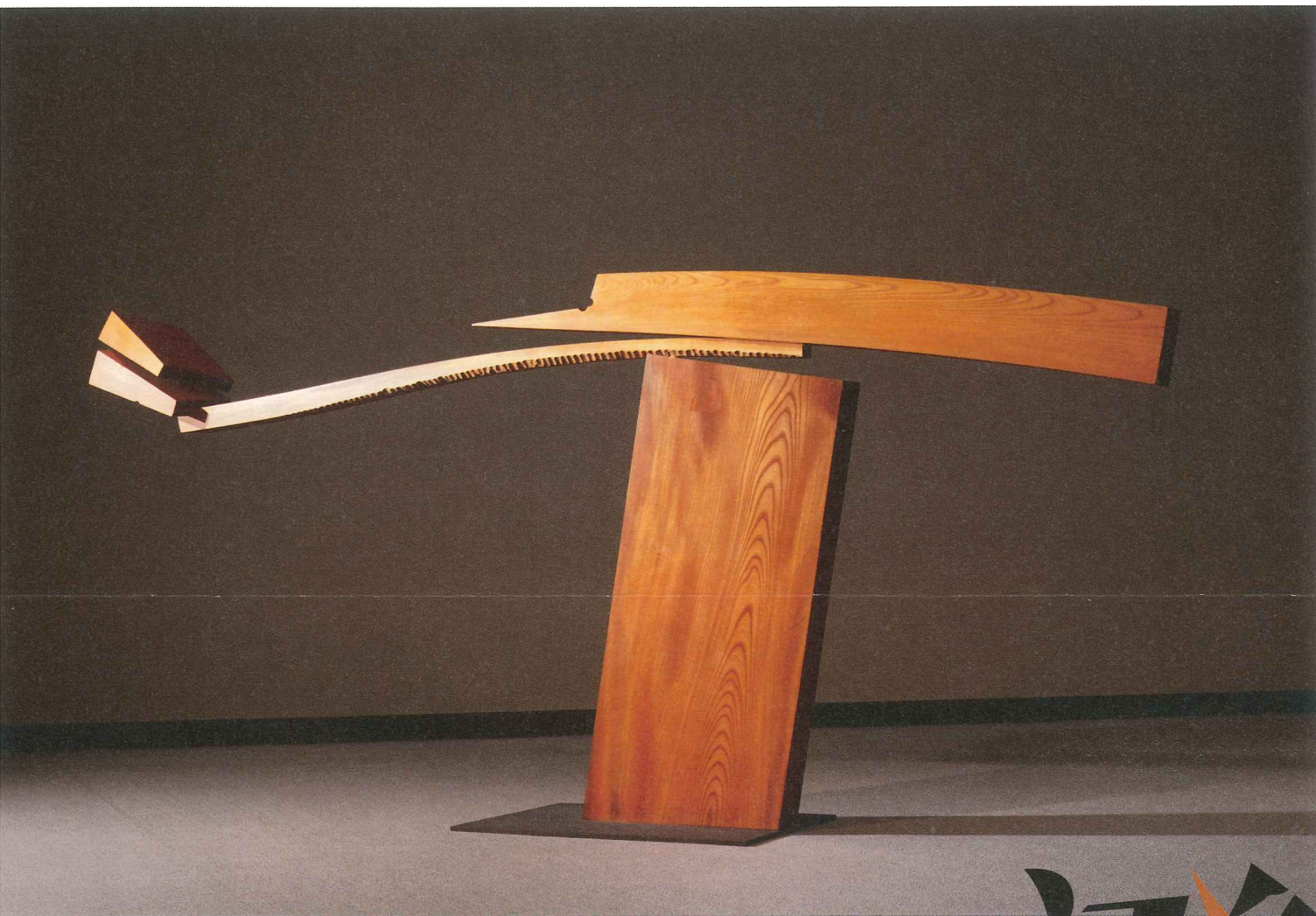




澄川喜一《そりのあるかたち》 1980年 埼玉県立近代美術館蔵 撮影：村井 修

2015年

7月11日(土)～8月31日(月)

休館日／毎週火曜日 開館時間／10:00～18:30 (展示室への入場は18:00まで)

観覧料
当日券／一般：1,000 (800)円、企画・コレクション展セット 1,150 (920)円
大学生：600 (450)円、企画・コレクション展セット 700 (530)円
小中高生：300 (250)円、企画・コレクション展セット 300 (250)円
前売券／企画・コレクション展セット 900円 ※()内は20名以上の団体料金

※小中高生の学校利用は入場無料 ※障害者手帳保持者および介助者は入場無料
※前売券は、ローソン各店(Lコード68573)、主な旅行会社、各プレイガイドでお求めになれます。

主催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央テレビ、中国新聞社

協力：アサガミ株式会社、公益財団法人島根県西部山村振興財団、島根県中山間地域研究センター、スタジオムライ、(有)東京フォトアークス
後援：芸術文化とふれあう協議会(益田市、益田市教育委員会、津和野町、津和野町教育委員会、吉賀町、吉賀町教育委員会)、
島根県文化団体連合会、益田市文化協会、岩国市、岩国市教育委員会、宇部市、宇部市教育委員会

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

10TH
ANNIVERSARY

グラントワ
Grand Toit



澄川喜一 企画展

シンプル・イズ・ビューティフル

関連プログラム

澄川喜一 彫刻ツアー・トーク

作家によるスペシャルギャラリートーク。企画展会場のほかに、グラントワの野外彫刻もめぐりつつ作品についてお話しします。

(雨天の時は野外彫刻めぐりが中止になる場合があります)

日時：① 7月11日(土) / ② 8月2日(日)

講師：澄川喜一

各日14:00～ / 申込不要 / 先着50名

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要。

ワークショップ

木でつくる小さなモニュメント

作家による木のワークショップ。木材を削ったりつなげたりして、自分だけの小さなモニュメントをつくります。室内の飾りや、夏休みの宿題に最適です。

日時：8月1日(土) 14:00～16:00

講師：澄川喜一

会場：多目的ギャラリー

対象：小学4年生以上

定員：先着30名 参加無料 / 要事前申込

申込み方法：お電話にて、お名前、ご住所、年齢、連絡のとりやすい電話番号をお知らせ下さい。

【TEL 0856-31-1860(グラントワ代表)】

ギャラリートーク

担当学芸員が企画展のみどころをお話いたします。

日時：7月18日(土)、26日(日)、8月9日(日)、23日(日)

各日14:00～ / 申込不要 / 先着50名

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要。

グラントワteaガーデン「清流茶」

吉賀町産の美味しいお茶をお楽しみ下さい。

日時：8月8日(土) 11:00～

会場：美術館ロビー

先着100名 / 無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要。



【交通案内】

石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分

JR益田駅から徒歩15分

萩・石見空港から連絡バスJR益田駅まで約15分

浜田自動車道浜田ICから自動車約50分

JR新山口駅からJR益田駅まで特急約90分

◎駐車場あります(200台・無料)

※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。

開館10周年記念企画展
次回 企画展 **祈りの仏像** — 石見の地より —
2015年9月19日(土) — 11月16日(月)

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

TEL 0856-31-1860(代表) FAX 0856-31-1884(代表)

E-mail: zaidan@grandtoit.jp http://www.grandtoit.jp/



《そのりのあるかたち97-1》1997年 島根県立美術館蔵



《東京駅八重洲口「グランルーフ」》撮影：内海敏晴



《そのりのあるかたち97-4》1997年 東京藝術大学蔵

澄川喜一は、現代彫刻界をリードする芸術家の一人として、全国各地の野外彫刻を数多く手がけ、近年では東京スカイツリー®のデザイン監修や、東京駅八重洲口「グランルーフ」のデザインコミッティ委員を務めるなど、都市の環境造形の分野でも活躍しています。島根県の吉賀町に生まれ、山口県の岩国市で青春時代を送った澄川の制作の源には、自然あふれる日本の風土と古来から続くものづくりへの深い敬意があります。独特の曲線を「そり」と「むくり」で表現した作風は、抽象造形のなかに、東洋的美意識の無限の可能性を表し、現在も一貫して続くシリーズとなっています。本展では、1950年代の初期から近作まで約80点を集め、これまでにない規模で、澄川喜一の創作世界を一堂に紹介します。進化し続ける澄川芸術が紡ぎ出す、魅惑の立体空間をお楽しみ下さい。

澄川喜一

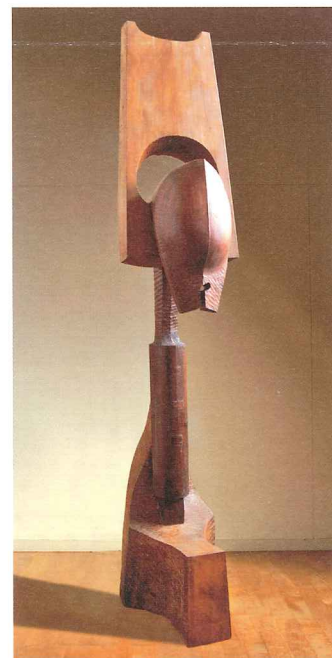


《木時計》1975年 東京都現代美術館蔵 《S君》1959年 個人蔵 撮影：村井修



澄川 喜一 [すみかわ きいち]

1931年島根県鹿足郡六日市町(現吉賀町)生まれ。山口県立岩国工業高等学校卒業後、東京藝術大学に進学。同校彫刻専攻科を修了。《そのりのあるかたち》シリーズで注目を集め、1979年第8回平櫨田中賞を受賞。翌年第11回中原二郎賞優秀賞を受賞。1995～01年東京藝術大学学長に就任。全国各地の野外彫刻を制作し、1988年第13回吉田五十八賞、2001年第10回本郷新賞を受賞。橋や庭園、塔などのデザインも監修する。1998年紫綬褒章(翌年紺綬褒章)。2004年日本藝術院会員。2008年に文化功労者に顕彰。2013年中国文化賞受賞。



《MASK-UN》1968年 山口県立美術館蔵 撮影：江崎義一